

令和2年度獨協医科大学教育セミナー開催のご挨拶

獨協医科大学 SD センター長 種 市 洋

SD (staff development)センターは『「社会のために」教育・健康・研究に関する課題に対して、主体的に分析し改善を図る事ができる人材を育成します』を mission に、①医療教育に関する役割遂行能力を向上させる、②自ら資質向上を図り行動できる人材を育成する、③相互成長（共育）を目指す教職員の人材育成を図る、の3つを vision に掲げ資格管理部門、教員研修部門、看護教育部門、職員研修部門の4部門が組織され、大学全体としての研修を通し教職員の質の向上を目指しています。

今回で第8回目となる獨協医科大学教育セミナーは、看護教育部門（旧看護教育センター）が平成25年度に看護系職員を対象に開催したのを端緒に、平成26年度からはその対象を全教職員に広げ職員研修部門が担当し発展的拡大を図り開催しています。

本学は、医科大学・看護学部・附属看護専門学校・附属看護専門学校三郷校の教学関連部門と大学病院・埼玉医療センター・日光医療センターの病院部門から組織されていますが、各部署（部門）がその組織の垣根を超え本学の建学の精神や病院理念、経営に関して横断的に管理・運営を図り、相互に発展させることが必須です。また、3病院の運営では経営が重要な課題であるため、教職員教育に関する研修が必要であり、これが職員一人ひとりの努力と組織間の協調と協力により本学全体での取り組みと改善に繋がることとなります。

今回のプログラムでは、「コロナ禍における業務改善の取り組み」がテーマであり、医科大学全体に係る内容であることは大学全体として共有すべきものです。獨協医科大学教育セミナーが本学の理念と経営への共通認識への一助となるものと確信しています。

最後にこのセミナー開催にあたり携わった教職員の方々に感謝いたします。